

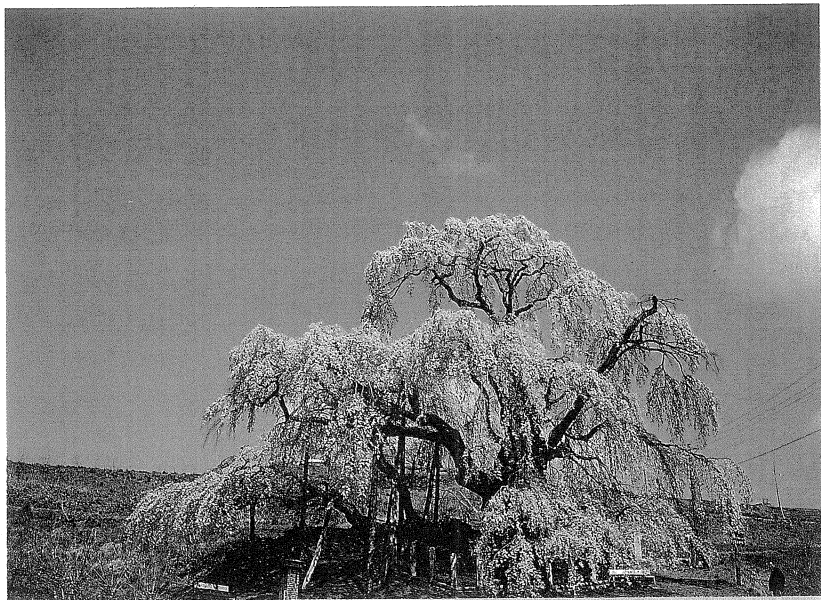
三春滝ザクラ (福島県)

みはる
三春には三つの春が同時にやってくるという。ウメ、モモ、そして、サクラである。長かった冬の終わりを祝うように、一斉に花々が咲き乱れる。

「日本一のサクラの里づくり」を目指している三春町では、「さくら基金条例」が制定されており、町を挙げてサクラの名所づくりに取り組んでいる。そして、その中心となるのがこの「滝ザクラ」である。天文年間に植えられたものといわれ、幹回り九・四m、枝張り直徑二〇mにも達する日本最大のしだれ桜である。エドヒガンを母種とするベニシダレという品種で、四月下旬、淡紅色の花が咲き誇る様は、まさに名に示すとおり、滝水の落ちるがごとく壮麗な姿である。

町の内外にはこの滝ザクラの子孫に当たる数百本のしだれ桜が植えられており、歴代の町民が校守として丹精込めて育ててきた。滝ザクラは三春町の人々にとってふるさとのシンボルそのものである。

(文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 蒔田明史)



三春滝ザクラ (福島県田村郡三春町)
●大正11年10月12日天然記念物指定

特集 文教施策の進展——平成七年度の展望

6 総説・文教行政全般の進展方向／各分野の文教施策の展開方向

8 文教施策の総合的推進・教育改革の推進／地域における文教施策の充実／文教政策のための調査研究の充実／我が国の文教施策（教育白書）の刊行／教職員等の生涯学習設計の推進

10 生涯学習・生涯学習の振興／生涯学習の振興のための施策

12 初等中等教育・初等中等教育の概況／教育内容・方法の改善／学校週五日制の実施／生徒指導の充実／進路指導の改善／健康教育の充実／国際化・情報化への対応／高等学校教育の改革／幼稚園教育・職業教育・特殊教育の振興／よりよい教科書の提供／教職員定数の充実等教育条件の整備／教員の資質能力の向上／海外子女教育・帰国子女教育の充実／外国人子女教育の推進／同和教育の振興

22 高等教育・高等教育の現状と整備の方向／高等教育改革の推進／リベリッシュ教育の推進／魅力ある理工系教育の推進／医学教育等の改善／大学院の充実と改革／国立大学の整備充実等／公立大学等に対する助成／大学入学者選抜の改善／青英奨学事業の充実／学生の就職について

28 私立学校・私学行政の概況／私学助成の充実

30 学術研究・学術行政の概況／科学研究費補助金の拡充／若手研究者の養成・確保／学術研究体制の整備／基礎研究の重点的推進／学術研究の社会的協力・連携の推進

34 社会教育・時代の要請にこたえる社会教育事業の充実／社会教育の諸条件の整備

36 スポーツ・体育・スポーツ行政の概況／体育・スポーツ施設の整備充実／生涯スポーツの推進／競技スポーツの振興／学校における体育・スポーツの充実

40 文化・文化発信社会の構築／芸術文化の振興／国語・著作権・宗務／文化財の保存と活用／文化・文化発信社会の構築／芸術文化の振興／国語・著作権・宗務／文化財の保存と活用

44 国際交流・協力・国際交流・協力の概況／教育・学術・文化・スポーツの国際交流・協力／留学生交流の推進／外国人に対する日本語教育の推進

48 情報化の推進・情報化施策の概況／マルチメディアの発展に対応した文教施策の基本的方向と施策

50 文教施設・文教施設のインテリジェント化等の推進／初等中等教育施設の整備方針／国立学校施設の整備充実

52 平成七年度予算／文部省の機構定員／文教関係の税制

カラー

1 いきいき個性ある日の学校訪問記

・八千代市立萱田小学校 (千葉県)

4 天然記念物歳時記

・三春滝ザクラ (福島県)

表2 名作シリーズ・両界葛茶羅胎蔵界

表3 文化財紹介・道後温泉本館

59 人・この道・フランク・キープ

60 私の本棚から・坪井昭三

61 教育・文化と地域づくり⑨・福岡県矢部村

64 集京・文教施策

68 都道府県別・教育・学術・文化ニュース

・北海道・東京都・島根県・鹿児島県

70 こんなにはいつぱい

・カローリーネ・ゼリリッヒ

72 '96アトランタ我が国競技スポーツの最前線

・バスケットボール

74 科学はいま理工系へのいざない

・北海道大学免疫科学研究所

77 鑑賞席・開館日記・特別展

・日本仏教美術名宝展

78 ぼくたち・わたしたちのウィークエンド

・茨城県岩瀬町教育委員会

80 海外教育ニュース

82 文学のふるさと・大阿蘇

84 編集後記

杉沢の沢スギ

(富山県)

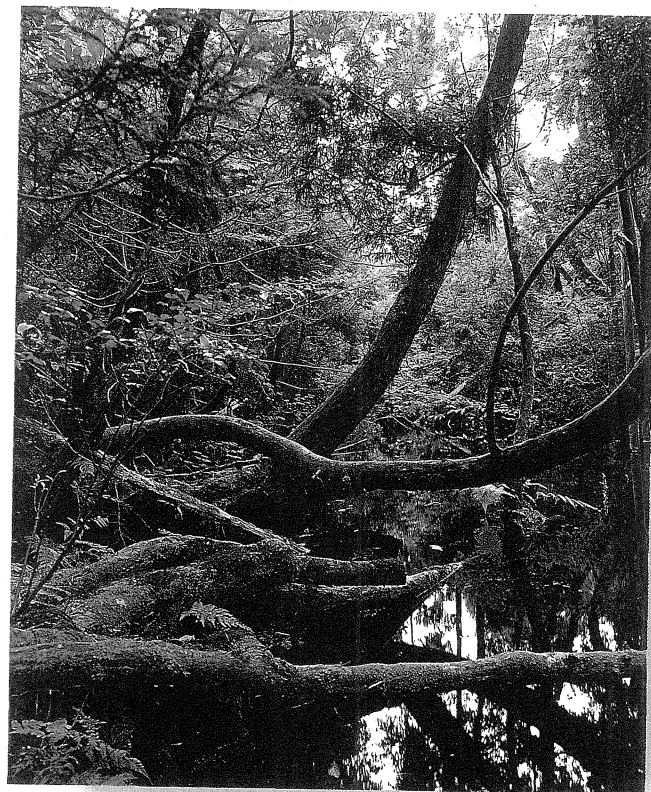
霊山立山に降った雪は春とともに融け出し、黒部の溪谷を流れ下る。溪谷は宇奈月を過ぎると突然開け、黒部の扇状地となる。ここで流水の一部は伏流し、扇状地のあちこちで湧水となつて吹き出す。

「杉沢の沢スギ」は、この黒部扇状地の末端の湧水地に成立し、日本海側の多雪地帯に適応したタテヤマスギで構成されている林である。沢スギは根元からの萌芽性が強く、延びた枝は自重によって着地し根を出す(伏条現象)。一株から何本もの伏条した幹を立ち上げた特異な樹型のスギがこの林を特徴づけている。

林内は湧水によって温暖で、マンリョウやタブノキなどの暖温帯の植物と、キンコウカやオオバツジなどの黒部川によって運ばれた深山性の植物が混在し、この豊富な植物層が一層沢スギ林を特徴あるものとしている。

現在、この優れた林を自然学習の場として活用するため、富山県による整備事業が文化庁の補助で進んでいる。

文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 池田 啓



杉沢の沢スギ (富山県下新川郡入善町)
●昭和48年8月4日 天然記念物指定

写真提供：入善町商工水産課

特集 情報化の進展と文教施策

巻頭言 ● 6 高度情報通信社会と人間・猪瀬 博

座談会 ● 8 教育の情報化——現況と課題

・(出席者) 石井威雄／近信俊文／野中ともよ／深山 照・(司会) 小口浩一

事例紹介① ● 20 電子図書館システムについて・学術情報センター

事例紹介② ● 24 主体的に自らの生活を切り開く

生徒の育成を目指して

生徒一人一人の個性を伸ばすためのコンピュータの

有効な活用方法・岐阜県板取村立板取中学校

提言 ● 28 文教分野における情報活用の将来像・坂元 昂

● 30 頼られる図書館をめざして

神奈川県立図書館の場合・吉田 敦

● 32 スポーツ分野における情報活用の将来像・大館 順

エッセイ ● 34 学校のパソコン教育で地域貢献を・山根二真

解説 ● 36 文教委行政における情報化への取組について

マルチメディア時代に向けての対応

・大臣官房政策課マルチメディア政策企画室

資料 ● 46 マルチメディアの発展に対応した

文教施策の推進について(審議のまとめ)(要約)

カラー

1 いま、個性ある日の学校訪問記

・川副町立川副中学校(佐賀県)

4 天然記念物歳時記

・杉沢の沢スギ(富山県)

表2 名作シリーズ・愛染明王像

表3 文化財紹介・大燈国師墨蹟

50 人・この道・山口久美子

51 教育・文化と地域づくり ● 山梨県牧丘町

54 中教審ニュース

60 焦点——文教施策

67 私の本棚から・藤田良雄

68 都道府県発——教育・学術・文化ニュース

・青森県・岐阜県・鳥取県・愛媛県

70 こんにちはにっぽん

・ラファエル・エミリオ・アルカルデ

72 '96アトラント・教員職人気質の最前線

・ウエイトリフ・ティンダ

74 科学はいま——理系へのいざない

・鳥取大学乾燥地研究センター

77 鑑賞席・共催展清水九兵衛展

環境との親和(アフェニティ)

78 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド

・北九州市教育委員会

80 海外教育ニュース

82 文学のふるさと・野菊の墓

84 編集後記

標津湿原 (北海道)

知床半島の付け根に位置する標津湿原の特色は、丘陵—湿原—砂丘—海岸と連なる地形にある。約六〇〇年前の縄文海進後砂丘が形成され、その砂丘と丘陵の間の凹地に泥炭の形成が進んで現在の湿原が作られた。湿原にはミズゴケを中心に、知床の山系や千島・樺太に分布する植物が自生する。ミズゴケは高さ五〇cm、直径三mのテーブル状の塊（フルト）を形成し、特異な景観を見せる。湿原の中にはボ—川が蛇行し、オシロコマなどが生息する。これら動植物を対象として天然記念物に指定されている。

丘陵には縄文から擦文にかけての竪穴住居群が、砂丘にはオホツク文化の遺跡があり、標津遺跡群として史跡に指定されている。このように、この地域一帯は自然とそこに形成された文化が広域的に、一体として保存されている。

現在、全国一のサケの遡上を誇る標津川とともに地域博物館として整備が進んでいる。

文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 池田 啓



標津湿原 (北海道標津郡標津町)
●昭和54年8月7日 天然記念物指定

特集 総合学科 — 高等学校教育の新たな展開

巻頭言 ● 6 創造的な人材育成のために・豊田章一郎

座談会 ● 8 総合学科への期待・(出席者)北澤誠士・天野郁夫・坂内和子・櫻井修・司木曾功

論文 ● 18 総合学科に期待する・山極 隆

● 20 総合学科の正しい理解を・野原 明

エッセイ ● 22 我が高校生活・笛吹雅子

事例紹介 ● 24 歩きながら考える

——本校総合学科一年の足跡・岩手県立岩手台高等学校

● 27 授業実践「産業社会と人間」の取組・三重県立本高高等学校

● 30 生き生きと、のびのびと、自ら学ぶ
——総合科学科を開設して・筑波大学附属坂戸高等学校

● 33 「走りながら考えている」
——総合学科の授業展開について・和歌山県立和歌山高等学校

● 36 全国初の「三」総合学科は・鳥根県教育委員会

体験記 ● 39 少しずつ見えてきた「総合学科」
——よくするも、悪くするも私たちだいたい・和地麻美

● 42 総合学科に一年間学んで・飯島大和

解説 ● 44 総合学科について・初等中等教育局職業教育課

カラー

1 いきいきと個性ある日の学校訪問記

● 岡山県立岡山城東高等学校(岡山県)
4 天然記念物歳時記
● 標津湿原(北海道)

表2 名作シリーズ・法華経曼荼羅

表3 文化財紹介・大森及び周辺地域の
海苔生産用具

50 人・この道・後藤正二

51 教育・文化と地域づくり ● 秋田県能代市

54 中教審ニュース

56 焦点—文教施策

66 私の本棚から・山口 眞

67 鑑賞席・応挙展

68 都道府県発—教育・学術・文化ニュース
● 岩手県・山梨県・和歌山県・宮崎県

70 こんにはにっぽん
● フンジャ・モセス・ムトウリ

72 '96アトラクター 我が国競技スポーツの最新様
● ヨット

74 科学はいま—理系へのいざない

● 北海道大学電子科学研究所

77 刊行物紹介

78 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド
● 岐阜県谷汲村教育委員会

80 海外教育ニュース

82 文学のふさと・みだれ髪

84 編集後記

月山

(山形県)

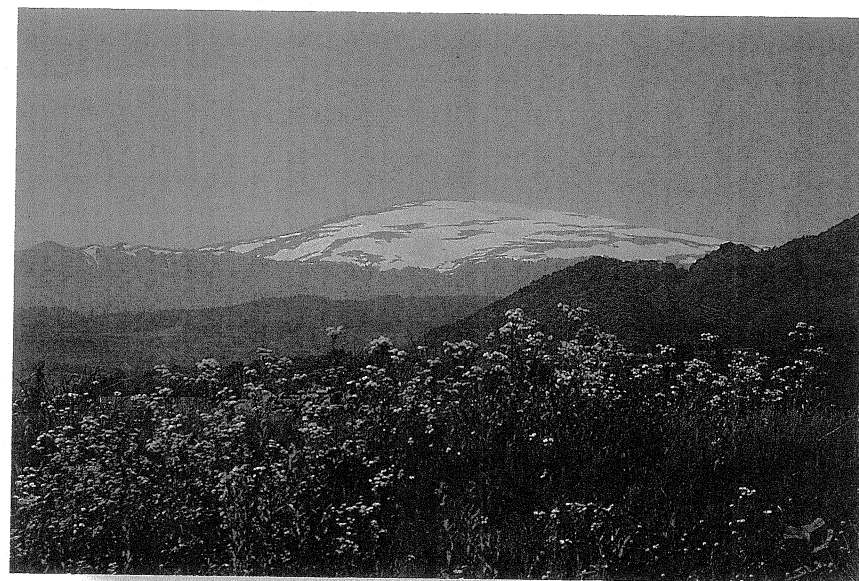
霊峰月山は古来から山岳信仰の対象とされ、山伏や多くの信者で賑わってきた。

山形県のほぼ中央部に位置し、出羽三山の主峰である月山は、海拔一九八〇m、アスピーテ形の死火山である。日本海をわたってくる冬の季節風が多量の積雪をもたらし、とりわけ、山頂部の東側斜面のカル状地形には広大な雪田が形成される。

初夏、鮮やかな新緑と残雪の白色とがみごとな対比を見せ、その中を多様な高山植物が短い夏を奪い合うように咲き競う。見どころは、弥陀ヶ原一帯に形成された高層湿原と、雪解けにともなうて徐々に姿を現す雪田植生である。多くの登山客の歓声の中、イワヒバリやヒンズイのさえずりが聞こえ、ひょうきんな動きで人気のあるオコジョが姿を見せることもある。

やがて吹く風に冷たさを感じるころ、ササやハイマツの緑色の中、山はいつしか赤や黄色に彩られるようになる。

文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 蒔田明史



月山 (山形県東田川郡黒町、立川町)
●昭和47年12月9日 天然記念物指定

特集 専修学校20年

巻頭言●6 専修学校の役割と今後の課題・河野重男

座談会●8 近年における専修学校の発展と今後の展望
(出席者) 大森 厚/戸田修三/永井順國/安田忠治/小野紘昭・司会) 高 為重

論文●20 二〇年の歩みから——専修学校の特質を考える・倉内史郎

エッセイ●24 専修学校二〇年を振り返って・大沼 淳

●26 歌は心・佐々木千賀

事例紹介①●28 専門学校と大学・短期大学との連携・広島工業大学専門学校

事例紹介②●30 専修学校におけるマルチメディア教育・日本電子専門学校

事例紹介③●32 専修学校における国際ボランティアの養成
——理論と実践力を合わせ持つ国際ボランティアの育成
・大阪YWCA専門学校

事例紹介④●34 園芸業界とリフレッシュ教育・テクノ・ホルティ園芸専門学校

事例紹介⑤●36 専修学校における留学生受入れ・東洋美術学校

事例紹介⑥●38 高等専修学校の実践紹介・大和商業高等専修学校

体験記●40 兵庫県南部地震における学生の活動
——地域活動から得たもの・佐野光世

解説●44 専修学校の発展と振興策について
・生涯学習局生涯学習振興課専修学校教育振興室

特別記事 放送大学の全国化

- 48 放送大学の全国化・生涯学習局生涯学習振興課
- 53 放送大学の概要

カラー

- 1 いよいよ個性ある日の学校訪問記
・若美町立若美幼稚園(秋田県)
- 4 天然記念物歳時記
・月山(山形県)
- 表2 名作シリーズ・矢田地蔵縁起
- 表3 文化財紹介・御手洗

56 人・この道・園部 澄

57 教育・文化と地域づくり④・北海道幕別町

60 焦点・文教施策

63 霞が関トビックス

64 中教審・ニュース

66 私の本欄から・小畑修一

67 鑑賞席・生誕一〇〇年記念
里見勝蔵展

68 都道府県発——教育・学術・文化・ニュース
・宮城県・新潟県・滋賀県・福岡県

70 こんなにはつぼん・ベス・ヒギンズ

72 96アトランタ——我が国競技スポーツの最前線
・自転車競技

74 科学はいま——理系へのいざない
・東京大学地震研究所

77 刊行物紹介

78 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド
・国立信州高遠少年自然の家

80 海外教育・ニュース

82 文学のふさと・こんまつね

84 編集後記

吹割溪ならびに吹割瀑 (群馬県)

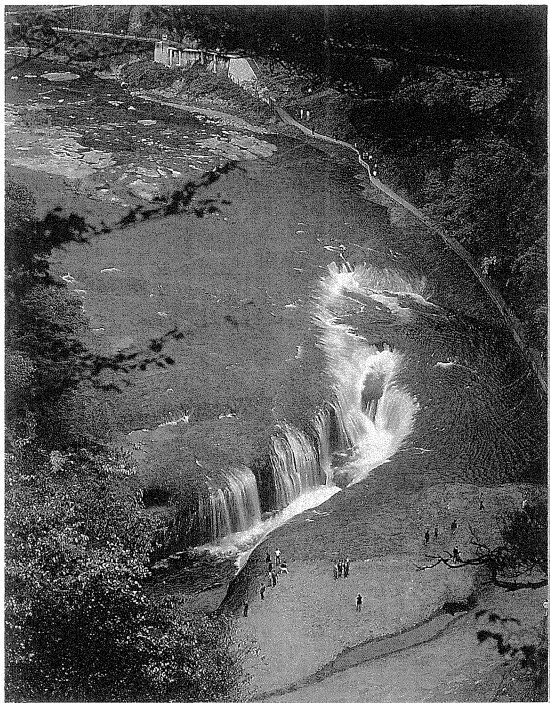
「吹割溪ならびに吹割瀑」は、群馬県利根川の片品川沿いにあり、吹割溪又は片品溪谷と呼ばれています。凝灰岩とその浸食地形並びに溪谷美に着目して、昭和十一年、天然記念物及び名勝に指定されています。

吹割溪は、溶結凝灰岩と呼ばれる比較的柔らかい岩石からできています。この岩石は、約九〇〇万年前に起こった火山噴火に伴って発生した大火砕流が冷えて固まったものです。その後、数十万年以上の歳月をかけて、この溶結凝灰岩は片品川の流れにより浸食され現在の吹割溪へと変化して行きました。

川の中ほどには、溶結凝灰岩の割れ目に沿うように、幅二〇mほどの溝が数十mにわたって続いています。この溝に向かって三万から川の水流れ落ち、独特の滝となつていきます。滝の落差は最大七mにも達し、吹割瀑と呼ばれています。

吹割溪は、ポットホール（ポットホール）や河岸段丘などを含めた河川に特有な地形が観察できるだけでなく、秋の紅葉時期を中心に個性的な溪谷美を堪能できる場所です。

文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 桂 雄三



吹割溪ならびに吹割瀑 (群馬県利根郡利根村)
●昭和十一年十二月十六日 天然記念物及び名勝指定

写真提供：群馬県利根村役場

特集 教員の資質向上——教員養成・研修の充実

巻頭言 ● 6 教職員への期待・今村武俊

座談会 ● 8 社会の変化と教員に求められる資質
(出席者 蓮見首彦／大野 忠／中 進士／橋口宇子／金平敬之助・司会 松元昭憲)

論文 ● 18 これからの教員養成・教員研修
——戦後五〇年の集積の上に、野地潤家

● 22 情報教育の教員養成と研修・赤堀侃司

● 25 生徒指導と教員養成・研修・羽田紘一

エッセイ ● 28 アメリカ人から見た日本の先生・ケント・ギルバート

事例紹介 ● 30 教員養成・現職教育への新たな取組
——信州大学教育学部の場合・信州大学

事例紹介 ● 33 親しまれ頼られる教育センターを目指して
・岩手県立総合教育センター

事例紹介 ● 36 教頭等民間派遣研修・岐阜県教育委員会

事例紹介 ● 39 校内における初任者研修の取組・島根県出雲市立北陽小学校

解説 ● 42 教員の養成・研修の充実について・教育助成局教職員課

● 48 諸外国の教員養成・研修・大臣官房調査統計企画課

カラー

- 1 いきいき個性ある日の学校訪問記
・はまみ養護学校(新潟県)
- 4 天然記念物歳時記
・吹割溪ならびに吹割瀑(群馬県)
- 表2 名作シリーズ・当麻夢雲難図
- 表3 文化財紹介・史跡夏見庵寺跡

- 50 与謝野前文部大臣、CERN理事会に出席
- 52 人・この道・諸井 誠
- 53 教育・文化と地域づくり①・愛知県稲沢町
- 56 焦点—文教施策
- 63 私の本棚から・水谷 修
- 64 中教審ニュース
- 66 都道府県発—教育・学術・文化ニュース
・秋田県・愛知県・大阪府・佐賀県
- 68 こんにはにっぽん
・アンバルタール・パンカージ
- 70 96アトラクター我が国競技スポーツの最前線・卓球
- 72 科学はいま—理系へのいざない
- 75 刊行物紹介
- 76 ぼくら、わたしたちのウィークエンド
・広島県教育委員会
- 78 海外教育ニュース
- 80 鑑賞席・人体の世界
- 81 鑑賞席・ハンガリー世紀末の建築と応用美術
- 82 文学のふさと・西郷隆盛
- 84 編集後記

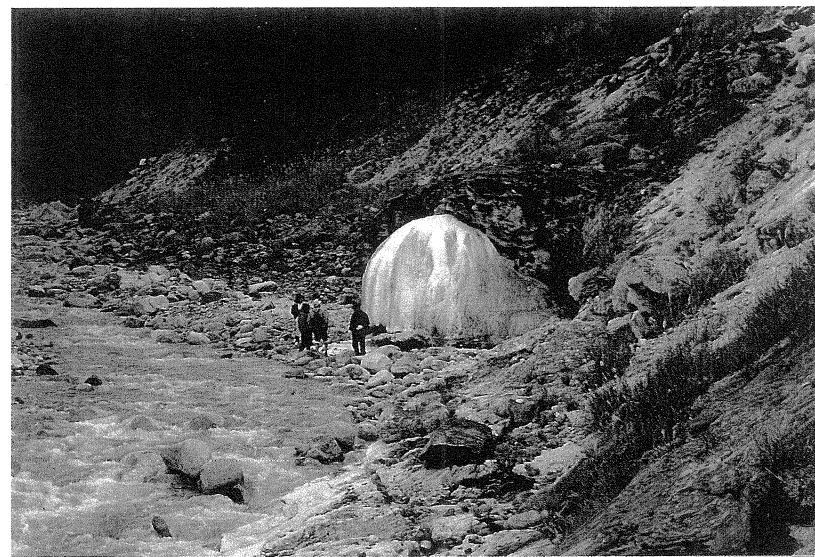
高瀬溪谷の噴湯丘と 球状石灰石 (長野県)

「高瀬溪谷の噴湯丘と球状石灰石」は、長野県大町市の高瀬川上流にある。大正十一年に、活発に生成される噴湯丘とカルシウム分を含んだ温泉水から沈殿した球状石灰石に着目して、天然記念物に指定されている。

車の入れる終点の七倉ダムから徒歩で六時間、双六岳から流れ落ちる湯俣川と、槍ヶ岳から流れ落ちる水俣川の合流点に達する。標高約一五〇〇m、さらに湯俣川右岸の花崗岩の絶壁つたいに、五〇〇mほど廻り河原に降りる。あちこちから湯気が上がり、温泉が噴き出している。急な流れを際上までつかり対岸に渡ると、いくつもの巨大な噴湯丘が追ってくる。段丘上には既に活動を停止した噴湯丘が黒々と横たわり、河床近くには現在も活動を続ける乳白色の噴湯丘がそびえている。噴湯丘の頂部からは、ピンクがかった熱湯が活発に吹き上げているのを観察することができる。

アプローチは決して短くはないが、北アルプスの地下に眠る壮大な規模のマグマの熱や大地の不思議に思いをはせながら訪れてみたい場所である。

文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 桂 雄三



高瀬溪谷の噴湯丘と球状石灰石 (長野県大町市)
●大正十一年10月12日 天然記念物指定

特集 新しい文化立国をめざして

巻頭言 ● 6 固有と共有の共成・三善 晃

座談会 ● 8 新しい文化立国をめざして
(出席者 高階秀爾／小島美子／鈴木忠志／遠山敦子)

論文 ● 18 文化立国と実演家・小泉 博

● 22 劇場が新しい時代を創る
ピッコロシアターの試み・山根淑子

● 26 指定制度と登録制度
文化財保護制度の新たな展開・鈴木博之

随想 ● 30 芸術家在外研修の思い出・奥谷 博

事例紹介 ● 32 新しい芸術文化施設の運営をめざして
・水戸芸術館

事例紹介 ● 36 からむし生産技術保存事業の展開
・昭和村からむし生産技術保存協会

資料 ● 40 新しい文化立国をめざして
文化振興のための当面の重点施策について(報告)
・文化政策推進会議

カラー

1 いまいる個性ある日の学校訪問記
・櫛形町立櫛形西小学校 (山梨県)

4 天然記念物歳時記
・高瀬溪谷の噴湯丘と
球状石灰石 (長野県)

表2 名作シリーズ・絹本着色聖徳太子絵伝
表3 文化財紹介・輪島塗

50 人・この道・深尾良夫

51 教育・文化と地域づくり ● 山口県徳地町

54 焦点・文教施策

64 中教審ニュース

67 私の本棚から・香川芳子

68 都道府県発・教育・学術・文化ニュース
・山形県・兵庫県・富山県・長崎県

70 こんにちはにっぽん・キン・マウン・キョー

72 '96アトラクター我が国競技スポーツの最前線
・ソフトボール

74 科学はいまー理系へのいきなり

77 鑑賞席・現代マヤ

78 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド
・国立妙高少年自然の家

80 海外教育ニュース

82 文学のふもと・われは草なり

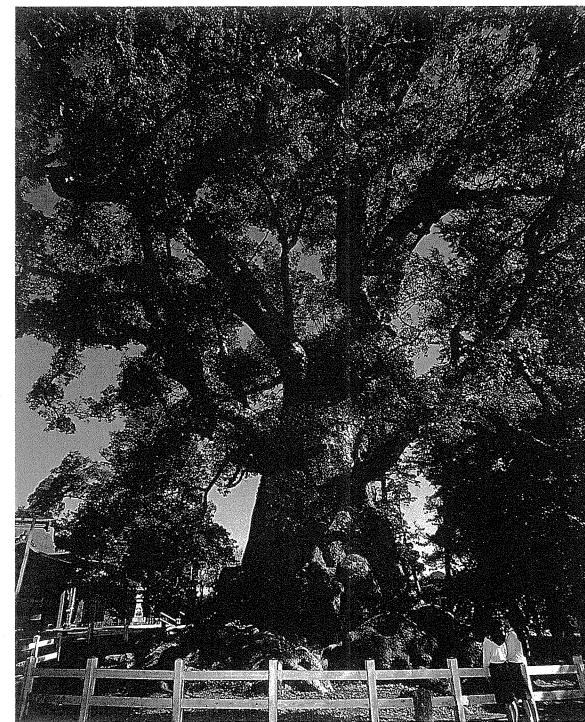
84 編集後記

特別天然記念物
蒲生のクス (鹿児島県)

樹高三〇m、幹回り二四m余、根回りに至っては三〇数mにも達し、日本一の巨樹に叙せられる威風堂々たる古木である。現在では根回りが盛り土によって埋められているが、かつてはさらに雄大な姿を誇っていたものと思われる。保安四年(一二三三年)、蒲生舜清が蒲生八幡神社を建立した際に既に神木として祭られていたと言伝えられており、樹齢は千数百年に及ぶと推定されている。

クスノキは西南日本を代表する照葉樹の一つであり、全国で二七件もの巨樹が天然記念物に指定されている。常緑樹としては葉の寿命が短く、一年でほぼすべての葉が入れ替わる。春は明るい新緑の下、秋には深い緑陰のもとに、人々は集い、様々な営みを繰り広げてきたことであろう。一月には「日本一大楠」と秋まつりと題する鎮守の森音楽祭が開催されており、この木は、蒲生の自然・農・文化のふれあいの中心的存在となっている。

(文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 蒔田明史)



蒲生のクス (鹿児島県姶良郡蒲生町)
●大正11年3月8日天然記念物指定
●昭和27年3月29日特別天然記念物指定

写真提供/蒲生町教育委員会

特集 ユネスコ50周年

巻頭言 ●6 ユネスコの五〇年・三浦朱門

メッセージ ●8 ユネスコ五〇周年に寄せて・フェデリコ・マヨール

●9 ユネスコ五〇周年に寄せて・スラット・シルバリアン

座談会 ●10 ユネスコと我が国が果たすべき役割
・(出席者) 西島安則/三角哲生/猪口邦子/・(司会) 本間政雄

論文 ●20 世界の教育とユネスコ・潮木守一

●22 ユネスコの文化遺産保護——その道のりと未来・伊藤延男

●24 UNESCOとMOSTプログラム・石井米雄

●26 地球環境科学に関するユネスコの役割・浅井龍雄

●28 国際組織としてのユネスコ・野口 昇

エッセイ ●30 ノン・フォーマル・エジュケーション・青木怜子

事例紹介 ●32 恵まれない地域における初等教育の普及と質的向上
——広島大学ユネスコAPPEID事業・広島大学APPEID事業実施委員会

事例紹介 ●34 アジア・太平洋地域における識字教材の共同開発事業とその課題
・ユネスコ・アジア文化センター

事例紹介 ●36 識字教育協力——ユネスコ・世界寺子屋運動の展開と成果・日本ユネスコ協会連盟

事例紹介 ●38 高等学校におけるユネスコクラブ活動・宮崎県立宮崎北高等学校

事例紹介 ●40 地域ユネスコ活動の推進状況・太田ユネスコ協会

体験記 ●42 アソシエイト・エキスパートとしてユネスコ本部に勤務して・林川貴紀

解説 ●44 我が国のユネスコ活動の概要・学術国際局国際企画課

特別記事 民間社会教育事業——その役割と展望

●46 民間社会教育事業の果たす役割と今後の展望
——社会教育関係団体の行う事業を中心に・生涯学習局社会教育課

●49 企業等が実施する社会教育事業
——その位置付けと関連施策・生涯学習局民間教育事業室

●53 民間教育事業の現状

カラー

- 1 いまいま開催ある日の学校訪問記
●丸瀬布町立丸瀬布中学校(北海道)
4 天然記念物歳時記
●蒲生のクス(鹿児島県)
表2 名作シリーズ・山王宮参茶羅
表3 文化財紹介・山梨県鋳物師屋遺跡
出土品一括

- 54 人・この道・大同 信
55 教育・文化と地域づくり ●大分県野津町
58 東京・文教施設
63 私の本棚から・山田竹實
64 中教審ニュース
66 都道府県別——教育・学術・文化ニュース
●栃木県・静岡県・京都府・熊本県
68 こんなにはじまん・ラビ・アトウル・アダワイア
70 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド
●ふるさと交流体験教室実行委員会
72 海外教育ニュース
74 鑑賞席・特別展 「花」
75 鑑賞席・ピカソ—愛と苦悩
——ゲルニカへの道
76 科学はいま—理工系へのいざない
●大阪大学微生物病研究所
79 読者からのたより
80 文学のふるさと・風の中の子供
82 お知らせ
84 お知らせ・編集後記

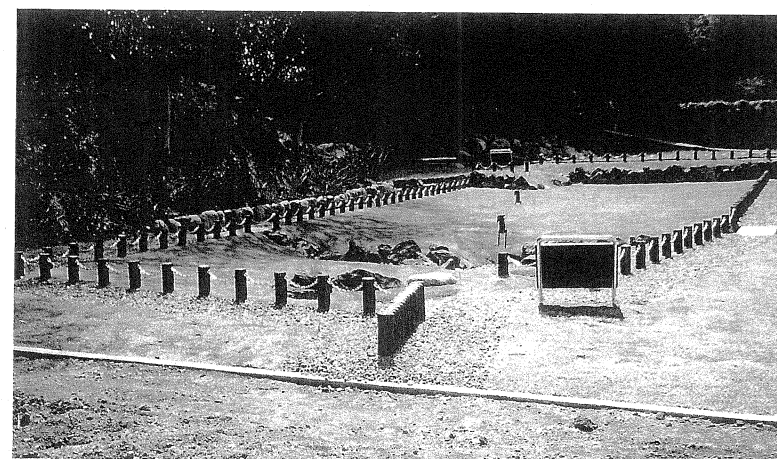
丹那断層 (静岡県)

昭和五年一月二六日未明、静岡県函南町の静かな山間は未曾有の大地震に襲われた。折から直下で掘削中だった東海道線の丹那トンネルの工事現場でも異変が起っていた。中央付近まで掘り進んでいたトンネルの先端付近が、右から移動してきた岩盤でふさがれてしまったのである。後に北伊豆地震と呼ばれる、直下型地震の発生であった。マグニチュード七・三、兵庫県南部地震とほぼ同規模の大地震であった。

この地震の震源となったのが丹那断層である。丹那断層は、北は箱根の芦ノ湖付近から、南は修善寺の東南までおよそ三〇kmにわたって南北に連なる断層である。瞬時のうちに、断層を挟んだ西側の土地が南へ、東側の土地は北へ二、三mも移動した。トンネル直上の丹那盆地でも、水路の石組みや水田の石垣のくいちがいが観察され、天然記念物に指定されている。

丹那断層のある函南町は、静かな酪農の町である。隣接する伊豆や箱根の大観光地をそれ、在来線で丹那トンネルを抜け、ゆつくりと訪れたい場所である。丹那断層が活動するのは、一〇〇〇年に一度といわれている。当分はトンネルがずれることもないだろう。

(文化庁文化財保護部記念物課 桂 雄三)
文化財調査官



丹那断層 (静岡県田方郡函南町)
●昭和10年6月7日 天然記念物指定

写真提供：函南町教育委員会

スポーツの振興と地域づくり

特集

巻頭言 ● 6 スポーツ振興と地域づくり

——生活スポーツがその基本——宇土正彦

座談会 ● 8 我が国のスポーツの振興と

地域づくりの今後の展開

(出席者) 川淵三郎/西川 彰/三ツ谷浩子・司会 石川 晋

論文 ● 18 スポーツ振興と地域づくりの現状と課題

・大木昭一郎

● 22 ヨーロッパの地域スポーツクラブ・池田 勝

エッセイ ● 26 走ることの楽しさすばらしさ・宮原美佐子

事例紹介 ● 28 総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業

——大谷コミュニティスポーツクラブの誕生と今後の展開

・北九州市教育委員会

事例紹介 ● 32 ネオ・スポルコロス21

——大分県スポーツ推進計画・大分県教育委員会

事例紹介 ● 36 地域ぐるみで活動するスポーツ少年団

・埼玉県スポーツ少年団

● 40 Q & A・体育局生涯スポーツ課

特別記事 博物館ルネサンス——その可能性と展望

● 46 これからの博物館——イコム'95会議から・中川志郎

● 48 事例でみる博物館ルネサンス

● 52 博物館振興施策の概要・生涯学習局社会教育課

カラー

1 いま、個性ある日の学校訪問記

・新潟大学教育学部
附属新潟小学校 (新潟県)

4 天然記念物歳時記

・丹那断層 (静岡県)

表2 名作シリーズ・一休和尚像

表3 文化財紹介・岩手銀行旧本店本館

54 人・この道・杉下 茂

55 教育・文化と地域づくり ● 岐阜県大和町

58 焦点・文教施策

64 お知らせ

65 私の本棚から・小野誠志

66 中教審ニュース

68 都道府県発——教育・学術・文化ニュース

70 茨城県・長野県・岐阜県・山梨県

72 こんちにはーぽん・ヒリー・グレース・ノゼー

74 アトラクター 我が国競技スポーツの最前線

77 バドミントン

74 科学はいまー理工系へのいざない

77 鑑賞席・現代美術への視点IV

78 絵画・唯一なるもの

80 海外教育ニュース

82 文学のふもと・寒山落木

84 編集後記

下北半島のサルおよびサル生息北限地

(青森県)

ニホンザルは北半球に分布するサル類のうち最も高緯度に生息する種であるが、なかでもその北限である下北半島とそこに棲むサルの世界的知名度は拔き出ている。学会ではスノーモンキーなる英名での通りがよいように、この地のサルの積雪地への生理・生態的適応には学術的に注目されるものが少なくない。天然記念物に指定された所以である。

斧に見たてた半島の刃に当たる地域の南北に数群ずつ生息することが知られている。生息適地の劣化によるサルの衰亡を懸念する研究者等の声は、断続的な調査に基づくもので、その成りゆきが注目されてもいる。

一方、この地域に位置する脇野沢村ではサルの農作物被害がかねてから問題とされ、あれこれ対策が講じられてきた。分裂したサルの群を捕獲し飼育下におくこともしたが、村人の間ではもともとサルへの慈悲の念が強く、最近通電フェンスの設置を主とする被害防除を精力的に展開しつつある。

村が選択したこの共存の道は、試行錯誤的側面をもつとはいえ、野生生物との共存を命題としつつある今日、とるべき方策のひとつのモデルとして関係者の関心をおおいにかつてよい。

(文化庁文化財保護部記念物課
主任文化財調査官 花井正光)



下北半島のサルおよびサル生息北限地
●昭和45年11月11日 天然記念物指定

撮影：いそやま・たかゆき

特集 青少年の学校外活動

巻頭言 ● 6 今、なぜ学校外活動か ● 坂本昇一
座談会 ● 8 これからの学校外活動
● 出席者 明石要一／小宮保茂昭／坂本忠雄／松下俱子 ● 司会 金森越哉

論文 ● 18 青少年と冒険キャンプ ● 飯田 稔

● 22 青少年とボランティア活動 ● 吉永 宏

エッセイ ● 26 子供と自然 ● C.W.ニコル

事例紹介 ● 28 地域と連携した「てんからもん教室」
自然の家がやってきた ● 国立大隅少年自然の家

事例紹介 ● 31 障害のある児童生徒と地域の子供たちとの交流を目指して
● 静岡県教育委員会

事例紹介 ● 34 チャレンジ&クエスト
登校拒否児童・生徒の自然体験活動 ● 山口県教育委員会

事例紹介 ● 37 地域を理解する青少年の学習活動
気仙沼市子ども市民大学・気仙沼市教育委員会

解説 ● 40 学校外活動の充実のための取組 ● 生涯学習局青少年教育課

● 44 国立青年の家・少年自然の家の改善について(概要)
より魅力ある施設に生まれ変わるために

特別記事 教職員の生涯生活設計の推進

● 46 教職員のライフプランに関する協力者会議の報告に当たって
生涯を人間として生きる教職員 ● 加戸守行

● 48 「教職員のライフプランの充実方策について」
(教職員の生涯生活設計に関する調査研究協力者会議報告)
の概要について ● 大臣官房福利課

● 52 「ライフプランAOMORI」の策定 ● 青森県教育委員会福利課

● 53 生涯生活設計セミナーの開催 ● 東京工業大学

カラー

1 いまどき備忘録ある日の学校訪問記
● 栃木県立氏家高等学校(栃木県)

4 天然記念物歳時記
● 下北半島のサルおよび
サル生息北限地(青森県)

表2 名作シリーズ・春日宮曼茶羅

表3 文化財紹介・船大工榑木家関係資料

54 人この道・吉田義太郎

55 教育・文化と地域づくり ● 石川県門前町

58 焦点 ● 文教施策

61 私の本棚から ● 中村好成

62 中教審ニュース

66 霞が関トピックス

68 都道府県別 ● 教育・学術・文化ニュース
● 福島県・福井県・岡山県・香川県

70 こどもはにほん・アンジェロ・ボルビ

72 86 アニタ ● 我が国競技ボウルの最前線

74 柔道

77 科学はいま ● 理工系へいざ
● 大阪大学産業科学研究所

78 鑑賞席 ● 企画展示 館蔵品展
寺社縁起の歴史

78 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド
● 財団法人修養団

80 海外教育ニュース

82 文学のふもと・コタンの口笛

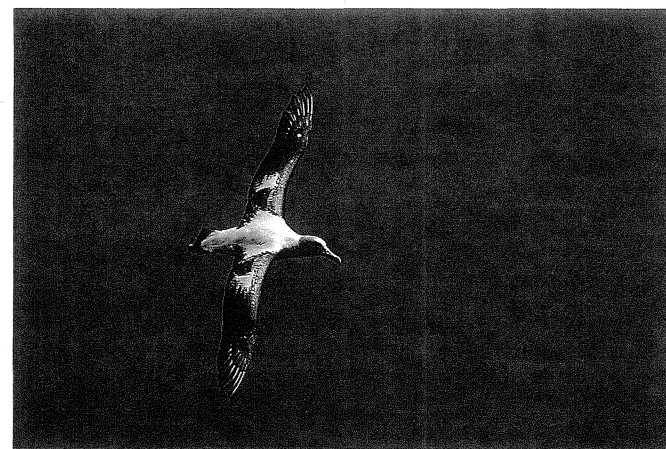
84 編集後記

アホウドリ、 鳥島（東京都）

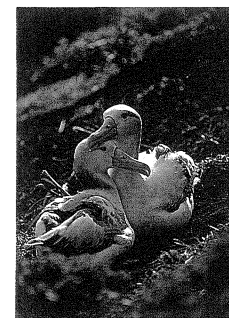
伊豆諸島の最南部に位置する鳥島は周囲六・五kmほどの小さな火山島である。ここは、世界中でわずか七五〇羽とされているアホウドリの最大の繁殖地となっている。一〇月、北太平洋で夏を過ごしたアホウドリは産卵のため、鳥島に帰ってくる。ヒナは、年が明けて一月中旬にふ化し、五月下旬には巣立ちを迎え、鳥島を離れる。アホウドリは体重六・七kg、翼を広げると二・五mにもなる大型の海鳥である。細く長い翼を巧みに使い海面近くを優雅に滑空し、トビウオやイカ類を食べる。しかし地上での動きは鈍く、このため悲劇が生まれた。かつて日本近海の離島で多数繁殖していたアホウドリは、良質の羽毛を採取するため一〇〇〇万羽近くが捕獲され、絶滅したと考えられていた。

昭和二六年に鳥島で一〇羽あまりのアホウドリが再発見され、保護の手が差し延べられるようになった。昭和五一年から毎年鳥島に渡っている東邦大学の長谷川博氏などの熱心な保護活動が功を奏し、鳥島のアホウドリの個体数は着実に増えてきている。

（文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 池田 啓）



アホウドリ
●昭和33年4月25日天然記念物指定
●昭和37年4月19日特別天然記念物指定
鳥島
●昭和40年5月10日天然記念物指定



写真提供／長谷川 博

平成八年 年頭の所感・文部大臣 島村宜伸

特集 魅力ある理工系教育の推進

創造的人材の育成のために

- 巻頭言・10 理工系人材育成における大学の役割・末松安晴
- 座談会・12 魅力ある理工系教育推進のために
●田嶋孝志 松本和子／四方義隆／只野文彦／池上徹彦／司会 笠井高芳
- 論文・24 産業界が期待する人材像について・三田勝茂
- 27 日本教育・大橋秀雄
- エッセイ・30 一億総理工系時代・本川達雄
- 事例紹介①・32 大道芸ロボットについて・東京工業大学工学部機械宇宙学科
- 事例紹介②・35 未来博士と「一日大学院」・北陸先端科学技術大学院大学
- 事例紹介③・38 夢発見・夢実現の創造演習
自発形創造教育システムにおける取組・徳山工業高等専門学校
- 事例紹介④・40 創造性教育を支援する夢考房・金沢工業大学
- 解説・43 理工系教育の現状と施策の推進について・高等教育局専門教育課

カラ

- 1 いきいき個性ある日の学校訪問記
●大山市立栗田小学校（愛知県）
- 4 天然記念物歳時記
●アホウドリ、鳥島（東京都）
- 表2 名作シリーズ・三井寺縁起
- 表3 文化財紹介・史跡水子貝塚
- 50 阪神・淡路大震災から一年を振り返って
- 53 教育・文化と地域づくり⑥・佐賀県有田町
- 56 焦点—文教施策
- 61 人々の道・青木 玉
- 62 中教審ユース
- 67 私の本棚から・菅原寛孝
- 68 霞が関トビックス
- 70 都道府県発—教育・学術・文化ユース
●群馬県・千葉県・石川県・広島県
- 72 '96アトラクタ—我が国競技スポーツの最前線
●近代五種
- 74 科学はいま—理工系のいざない
●京都大学ウィルス研究所
- 77 鑑賞席・大英博物館所蔵
イタリヤ素描展
- 78 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド
●国立オリンピック記念青少年総合センター
- 80 海外教育ユース
- 82 文学のふもと・赤いろうそくと人魚
- 84 編集後記

文化会館を核とした文化のまちづくり

特集

巻頭言 ● 6 文化会館に求められるもの・山崎正和

座談会 ● 8 文化会館を拠点とした

特色ある芸術文化活動の展開

（出席者：諸井 誠／衛 紀生／桜井俊幸／佐藤まじみ・司会：土居 正

論文 ● 18 文化会館とアート・マネージメント

「施設から設置へ」美山良夫

● 22 文化会館は文化の発信・受信基地・川口 純

エッセイ ● 26 ホールの運営とは・江戸京子

事例紹介① ● 28 音楽のまちづくりと公民館・田園ホール・エロラ

事例紹介② ● 31 厚木こどもミュージカル・厚木市文化会館

事例紹介③ ● 34 武生国際音楽祭によるまちづくり・武生市文化センター

事例紹介④ ● 37 緑をバックに演劇村計画

小さな村から夢と希望をのせて演劇文化発信・島根県八雲村

事例紹介⑤ ● 40 「演劇の町」への自信の芽生え・岩手県湯田町教育委員会

解説 ● 43 文化庁による文化会館の支援施策・文化庁文化部地域文化振興課

特別記事 これからの特殊教育諸学校施設づくり

● 46 特殊教育の展開と施設設備への期待・林 友三

解説 ● 48 これからの盲学校・聾学校及び養護学校施設づくり

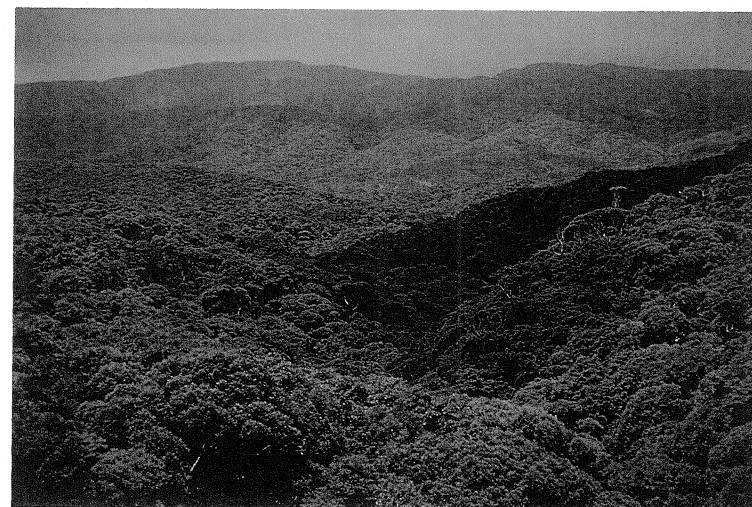
・大田官房文教施設部指導課

事例紹介① ● 50 視覚障害教育の専門機関としての機能を備えた学校

・東京都立久我山盲学校

事例紹介② ● 53 最新設備による聴覚障害児教育の充実・神奈川県立平塚つちの学校

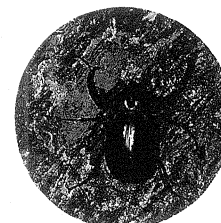
事例紹介③ ● 56 太陽の光と仲よく学ぶ・群馬県太田市立太田養護学校



与那覇岳天然保護区域
●昭和47年5月15日 天然保護区域指定



ノグチゲラ



ヤンバルテナガコガネ

写真提供／齋原建二

カラー

- 1 いま個性あふれる日の学校訪問記
- 南種子町立南種子中学校（鹿児島県）
- 4 天然記念物歳時記
- 与那覇岳天然保護区域（沖縄県）
- 表2 名作シリーズ・多武峰曼茶羅
- 表3 文化財紹介
- 紙本金地著色南蛮人渡来図

- 58 ユネスコ五十周年記念式典を挙行
― 皇太子殿下 同妃殿下が御臨席
- 59 教育・文化と地域づくり④・滋賀県安曇川町
- 62 焦点 ― 文教施策
- 64 人・この道・増田四郎
- 65 私の本棚から・岸 國平
- 66 中教審ユース
- 68 都道府県発 ― 教育・学術・文化ユース
- 埼玉県・三重県・高知県・沖縄県
- 70 こんにちははらばら・フラトカ・ヴァンダ
- 72 '96 アトランタ ― 我が国競技ボリの最新情報
- アーチェリー
- 74 科学は、まー理工系のみぞな
- 佐賀大学低平地防災研究センター
- 77 鑑賞席
- 身体と表現 1920〜1980
- ポンビローセンター所蔵作品から
- 78 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド
- 国立大雪青年の家
- 80 海外教育ユース
- 82 文学のふるさと・山の温泉
- ― 十曲川のケネディ
- 84 編集後記

世界一長い尾をもつ鶏 土佐のオナガドリ

ともかくこの鶏の尾の長さには想像を絶するものがある。一二mに達した記録もあるという。人が作出した栽培植物や家畜・家禽には、もとの野生種や近縁の品種から大きくかけ離れた色や形などを獲得した動植物が少なくないけれども、このオナガドリなどはその典型といつてよい。長い尾を引く華麗な姿は、こんな鶏を作り出した土佐地方の江戸期文化とともに人を惹きつけてあまりあるものがある。歴史的な文化遺産のひとつとみなせるゆえである。

鶏の尾羽は年々生え替わるのがふつうであるが、なかには一年おきの品種もいて、それらの淘汰の結果、抜けないで伸び続ける性質を固定したらしい。この性質にさらに飼育時に尾羽が損なわれないような工夫がつけ加わる。止箱と呼ばれる飼育器で、一羽ごと文字どおり箱入りで飼育する技術がそれである。

明治になって世界に向け盛んに輸出され、その積み出し港に因んだヨコハマの呼び名で広く知れ渡って現在に至っている。世界的に著名なオナガドリであるが、飼育技術の特異さや限られた地方での累代飼育が要因となつて、最近では純系の遺伝的劣化の進行が危惧されている。ついでには高知県が中心になって総合的対策が講じられつつあり、貴重な文化遺産の保存への努力が重ねられようとしている。

(文化庁文化財保護部記念物課主任文化財調査官 花井正光)



土佐のオナガドリ
●大正12年3月7日 天然記念物指定
昭和27年3月29日 特別天然記念物指定

社会との 連携が進む 学術研究

特集

巻頭言 ● 大学の社会に対する貢献・西澤潤一

座談会 ● 今後の産学連携の在り方

出席者 生駒俊明／榎之原道行／安田幸夫／青山聖子／司多遠藤 啓

論文 ● 18 産業界から大学への期待意識調査を中心に三井恒夫

● 20 地域における産学連携の在り方・森 邦夫

エッセイ ● 22 産・官・学の連携に

尊敬と信頼関係を取り戻そう・田中威子

事例紹介 ● 24 東京都立科学技術大学の産学交流・東京都立科学技術大学

事例紹介 ● 26 立命館大学における産官学交流の現状について

・立命館大学

事例紹介 ● 28 共同研究センターの活動状況・富山大学・熊本大学

事例紹介 ● 32 寄附講座の活動状況・千葉大学・東京工業大学

事例紹介 ● 36 民間等との共同研究による研究成果

・室蘭工業大学・東京大学・京都大学・九州大学

解説 ● 40 大学と産業界等との研究協力について

・学術国際局研究助成課研究協力室

特別記事 いじめ問題への緊急対応について

● 46 いじめ問題への緊急対応について

かけがえのない子どもの命を守るために

・初等中等教育局中学校課

カラー

- 1 いま個性ある日の学校訪問記
● 吉備高原学園高等学校(岡山県)
- 4 天然記念物歳時記
● 世界一長い尾をもつ鶏
土佐のオナガドリ(高知県)
- 表2 名作シリーズ・草枕絵巻
- 表3 文化財紹介・白川村萩町

- 51 教育・文化と地域づくり ● 東京都町田市
- 54 焦点1 文教施策
- 60 人々の道・原田康夫
- 61 露が関トビックス
- 62 中教審ユース
- 64 私の本棚から・藤島 積
- 65 鑑賞席 ● イカサ展
- 66 紐にみるインドネシアの色と文化
- 66 都道府県発 ● 教育・学術・文化ユース
● 神奈川県・奈良県・徳島県・大分県
- 68 こんにはらばら ● バイサイハン・バイヤガル
- 70 '96アトランター我が国競技スポーツの最新動向・野球
- 72 科学はいまー理工系(のさな)
- 72 東京大学生産技術研究所
- 75 刊行物紹介
- 76 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド
- 76 静岡県浅羽町
- 78 海外教育ユース
- 80 文学のふたもと ● ふたもとの
- 82 読者からのたより
- 83 お知らせ
- 84 編集後記

エヒメアヤメ自生南限地帯

(愛媛県北条市、山口県防府市、佐賀県佐賀市、宮崎県小林市)

エヒメアヤメは草丈一五cmから三〇cmのアヤメ科の多年生草本で、四月上旬から五月にかけて青紫色の可憐な花をつける。本種は陽性植物であり、草丈も低く、十分な日照が得られなければ生育が妨げられる。したがって、丘陵地に成立したアカマツの疎林や草地など、明るく乾燥した場所でしか生育しない。エヒメアヤメの分布は西日本に限定され、現在自生が見られるのは岡山、広島、山口、愛媛、佐賀、大分、宮崎の各県であり、愛媛県が生育地として早くから知られていたことからこの名前がある。

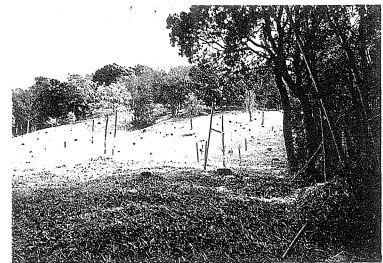
本種は中国南部から朝鮮半島に分布する北方系の植物で、これらの地域はこの種の分布南限地帯となっている。エヒメアヤメは散布力が弱いことから、この分布は過去において日本列島が大陸と陸続きであったことを教えてくれる貴重な証拠と考えられている。

標記のほかに、広島県と山口県の自生地二か所が天然記念物に指定されている。

(文化庁文化財保護部記念物課 池田 啓)
文化財調査官



●大正14年10月8日天然記念物指定



写真は山口県防府市

問い合わせ先 防府市教育委員会文化課文化財係
TEL 0835-23-1500

文教施策の進展 平成8年度の展望

- 8 総説・文部行政全般の進展／各分野の文教施策の展開
- 10 文教施策の総合的推進／教育改革の推進／地域における文教施策の充実／文教政策のための調査研究の充実／「我が国の文教施策」(教育白書)の刊行／教職員の生涯生活設計の推進
- 12 生涯学習・生涯学習の振興／生涯学習の振興のための施策
- 14 初等中等教育・初等中等教育の概況／教育内容・方法の改善／学校週五日制の実施／生徒指導の充実／進路指導の改善／健康教育の充実／国際化・情報化への対応／高等学校教育の改革／幼稚園教育・職業教育・特殊教育の振興／よりよい教科書の提供／教職員定数の充実等教育条件の整備／教員の資質能力の向上／海外子女・帰国子女教育の充実／外国人子女教育の推進／学校等の防災体制の充実について／同和教育の振興
- 24 高等教育・高等教育の現状と整備の方向／高等教育改革の推進／リベリッシュ教育の推進／理工系人材の養成／医学教育等の改善／大学院の充実と改革／国立大学の整備充実等／公立大学等に対する助成／大学入学者選抜の改善／育英奨学事業の充実／学生の就職について／マルチメディアを活用した高等教育の推進
- 30 私立学校・私立学校の概況／私学助成の充実
- 32 学術研究・学術行政の概況／科学研究費補助金の拡充と出資制度の創設／若手研究者の養成・確保／学術研究体制の整備／基礎研究の重点的推進／学術研究の社会的協力・連携の推進
- 36 社会教育・時代の要請にこたえる社会教育事業の充実／社会教育の諸条件の整備
- 38 スポーツ・体育・スポーツ行政の概況／体育・スポーツ施設の整備充実／生涯スポーツの推進／競技スポーツの振興／学校における体育・スポーツの充実
- 42 文化・文化政策の推進／芸術文化の振興／国語・著作権・宗務／文化財の保存・活用の推進／国立文化施設の整備・充実
- 46 国際交流・協力・国際交流・協力の概況／教育・学術・文化・スポーツの国際交流・協力／留学生交流の推進／外国人に対する日本語教育の推進
- 50 情報化の推進・情報化施策の概況／情報化の進展に対応した各分野の取組
- 52 文教施設・文教施設のインテリジェント化等の推進／初等中等教育施設の整備方策／国立学校施設の整備充実
- 54 平成8年度予算／文部省の機構定員／文教関係の税制

- I ある日の学校訪問記
- 舞阪町立舞阪幼稚園(静岡県)
- 4 天然記念物歳時記～花ごよみ
- エヒメアヤメ自生南限地帯
- 表2 名作シリーズ・極楽井
- 表3 文化財紹介
- 八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋
- 6 であい・ふれあい・高野 進
- 61 焦点―文教施策
- 63 お知らせ
- 64 中教審ユース
- 66 ポイント生涯学習
- ボランティア活動の支援・推進
- 68 都道府県発―教育・学術・文化・スポーツユース
- 東京都・京都府・島根県・宮崎県
- 70 どん講座―大学公開講座から
- 香川大学・島根大学
- 72 現代スポーツあれこれ
- 競技スポーツの振興と生涯スポーツの振興
- 74 科学はいま―理丁家へのいざない
- 九州大学機能物質科学研究所
- 77 鑑賞席・東アジアの仏たち
- 78 ぼくら、わたしたちのウィークエンド
- 新潟県上越地域広域行政組合
- 80 海外教育ユース
- 82 文学のふもと・若い人
- 84 編集後記

滝前不動のフジ

(宮城県川崎町)

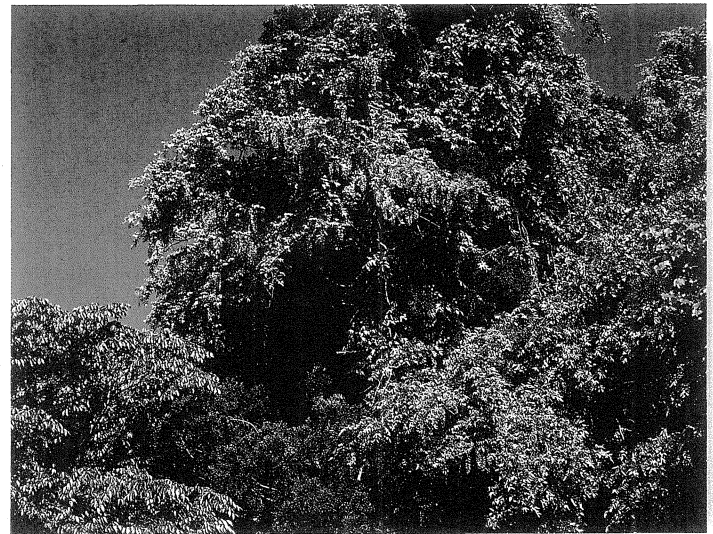
フジには、平地に広く見られるフジ（ノダフジ）と低山地に生育するヤマフジとがある。天然記念物には七件のフジの巨樹が指定されており、いずれもノダフジで、ヤマフジとは逆に左に巻いている。

フジの姿ですぐさま思い浮かぶのは、棚にしつらえられ、みごとな花ぶさを垂らしたものであろう。

この花ぶさは、みごとなものになると長さ二mを超えるものもある。埼玉県にある特別天然記念物「牛島のフジ」がこの代表であろう。

しかし、フジはつる性の樹木であり、他の樹木にからみつき、はい登って成長していくのが本来の姿である。このような姿を持つのが「滝前不動のフジ」で、佐藤正治氏方の不道明王を祭る境内に生育し、樹齢は四〇〇年以上と推定されている。幹は根本から三本に分かれ、スギ、ケヤキにからみつきのながら高さ二五mから二八mにまで竜のように上っている。最近、からみつかれたスギがフジの重さに耐えきれず枯れたため、この姿を失わないようにして、保護の手だてがとられた。

(文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 池田 啓)



●昭和51年6月16日天然記念物指定



問い合わせ先
宮城県川崎町教育委員会社会教育課
TEL 0224-84-2111

特集 国語施策50年 新しい時代に向けて

巻頭言 ● 8 国語施策五〇年の歩み ◆金田 春彦

座談会 ● 12 国語施策に期待すること
◆出席者 水谷 修／松村 明／堀田倫男／西尾圭子／如月小春 ◆司会 大島有史

論文 ● 24 戦後五〇年の国字問題
坂名道仁に関する施策を中心に ◆薬島 裕

● 28 日本語教育の五〇年 ◆野元菊雄

● 31 情報化と日本語について ◆荻野綱男

エッセイ ● 34 日本語とわたし ◆クレコリー・クラフ

● 36 現代表記の効用と、戦前の当て字 ◆斎賀秀夫

事例紹介① ● 38 太田市における在住外国人のための
日本語教育 ◆群馬県太田市

事例紹介② ● 40 夢のある町づくりへ行動！

「全国方言大会」 ◆山形県三川町三川三川トラ創造委員会

事例紹介③ ● 42 国語表現でのビデオテープの活用
◆東京都立豊谷高等学校

資料 ● 44 国語施策と国語審議会の五〇年 ◆文化庁文化財部国語課

● 48 国語施策の普及

● 49 文化庁の日本語教育施策

カラー

● 1 ある日の学校訪問記
◆太宰府市立
太宰府西小学校(福岡県)

● 4 天然記念物歳時記～花ごよみ
◆滝前不動のフジ(宮城県川崎町)

表2 名作シリーズ ◆金蓉

表3 文化財紹介

◆岩手県滝前遺跡出土品・土面

6 であいふれあい ◆植田和弘

50 焦点—文教施策

58 お知らせ

60 中教審ユース

64 ポイント生涯学習

◆多様で高度な学習機会の提供

66 都道府県発—教育・学術・文化・スポーツユース

◆秋田県 ◆岐阜県 ◆高知県 ◆鹿児島県

68 どんな講座—こんな講座—大学の公開講座から

◆徳島大学 ◆長崎大学

70 現代スポーツあれこれ

◆アンチ・ドーピング

◆スポーツ界の薬物乱用

72 科学はいま—理系へのいざない

◆東京大学医科学研究所

75 鑑賞席 ◆企画展示 失われゆく番匠の
道具と儀式

76 刊行物紹介

78 ぼくたち、わたしたちのワイクエンド

◆北海道広島町中央公民館

80 海外教育ユース

82 文学のふもと ◆武蔵野

84 編集後記

コウシンソウ自生地

(栃木県上野原市足尾町)

「きれいな花には刺がある」。可憐な花を咲かせるコウシンソウは、刺ならぬ腺毛から粘液を出して虫を捕らえる食虫植物である。食虫植物としてはモウセンゴケが有名だが、コウシンソウの属するタヌキモ科の植物はすべて食虫植物であり、ムシトリミレやタヌキモなど世界で約三〇〇種が知られている。食虫植物が虫を捕らえる工夫は種によって様々である。コウシンソウのような「鳥もち式」の他に、「わな式」、「落とし穴式」など、それぞれ巧妙な方法で虫を捕らえ、タンパク質を分解して窒素やリンを補給している。

コウシンソウは日本に固有の植物で、明治三三年に足尾町庚申山で発見された。崖地にへばりつくように生えており、六月中頃に紅紫色の花をひっそりと咲かせる。花の時期には谷の方を向いているが、結実した後は向きを山側に変え、実った種子を岩にこすりつけるという風変わりな習性をもっている。コウシンソウは花茎を含めても五cmから六cmという小さな植物ではあるが、崖地という特殊な立地に驚くほどよく適応した生活史特性をもった植物なのである。

(文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 藤田明史)



大正10年3月3日天然記念物指定
昭和27年3月19日名称変更
昭和27年3月19日特別天然記念物指定

進む高校教育改革

特集

巻頭言 ● 8 高校教育改革に期待する ◆ 森 隆夫

座談会 ● 10 高校教育改革の現状と課題

◆出席者 増井俊明／笠原喜平／勝万偏／今井通子 ◆司会 本間政雄

論文 ● 20 高校教育改革と高校教育の

日本的構造 ◆耳塚寛明

● 24 高校教育の目的は「進路指導」

高校教育の改革に期待する ◆桐村晋次

● 28 生徒一人一人を生かす高等学校 ◆佐野金吾

エッセイ ● 32 高校時代を振り返って ◆江上節子

事例紹介 ① ● 34 千葉県における学校間連携の歩み

◆千葉県教育委員会

事例紹介 ② ● 37 専修学校における学習成果の単位認定

◆静岡県立静岡商業高等学校

事例紹介 ③ ● 40 心を育てる教育を目指して

◆Paviaアーシエンスの設置 ◆熊本県立南関高等学校

解説 ● 43 進む高校教育改革について

● 43 高校教育改革の推進状況について

◆初等中等教育局高等学校課高校教育改革推進室

● 47 へき地学校高度情報通信設備

(マルチメディア)活用方法研究開発事業

◆教育助成局財務課教育財務企画室

カラー

1 ある日の学校訪問記
◆広島県立盲学校(広島県)

4 天然記念物歳時記―花こよみ
◆コウシンソウ自生地(栃木県)

表2 名作シリーズ◆棚上の花

表3 文化財紹介◆出水麓

6 であい・ふれあい◆久保克之

48 焦点―文教施策

58 お知らせ

60 霞が関トビックス

62 中教審ユース

66 ポイント生涯学習

◆初めての地域生涯学習振興基本構

想の承認について

68 都道府県発 教育・学術文化スポンサーユース

◆茨城県 ◆大阪府 ◆広島県 ◆香川県

70 どんな講座こんな講座―大学の公開講座から

◆北海道大学 ◆筑波大学

72 現代スポーツあれこれ

◆みるスポーツ

74 科学は、いま―理工系へのいざない

◆東北大学反応化学研究所

77 鑑賞席◆どうして像はつくられたの?

子どものための美術展

78 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド

◆国立夜須高原少年自然の家

80 海外教育ユース

82 文学のふもと◆芋の露

84 編集後記

大雪山（北海道上川町、東川町、美瑛町、新得町）

大雪山の春は七月半ばから始まる。雪が消えた高山帯には様々な高山植物が花開く。これを庭に咲き乱れるさまに見立て、アイヌ民族はカムイミントル（神の庭）と呼んだ。

大雪山の特徴は、二〇〇〇mを超す山々が高原状に連なる地形であり、このため高山植物群落が多様で大きなスケールを持つことである。岩礫地、砂礫地、湿潤地など生育環境によって特徴的な群落が成立している。乾燥した礫地に生育するエゾオヤマエンドウ、湿った礫地に生えるホソバウルップソウなどは大雪山に固有の高山植物である。

大雪山は植物ばかりではなく、氷河期の遺存種である高山蝶のダイセツタカネヒカゲ、哺乳類のナキウサギなど野生動物の宝庫でもある。このため、天然記念物が富んだ代表的地域として天然保護区域に指定され、保護が図られている。また、我が国最大の面積を誇る国立公園でもある。

（文化庁文化財保護部記念物課 池田 啓）



エゾオヤマエンドウ



白雲岳からトムラウシ山を望む

問い合わせ先
上川郡上川町層雲峡 大雪山国立公園層雲峡博物館
TEL 01658-5-3427

●昭和46年4月23日天然記念物指定
昭和52年3月15日特別天然記念物指定



ホソバウルップソウ

写真提供：大雪山国立公園層雲峡博物館館長 保田信記

学校等の防災体制の充実について

特集

巻頭言 ● 8 「防災リテラシー」をはぐくむ ◆高倉 翔

座談会 ● 10 より安全な学校へ ◆（出席者）近藤靖宏／川村英子／井野盛夫／徳山 明 ◆司会 清水 潔

論文 ● 18 学校防災の役割と課題 ◆廣井 脩

エッセイ ● 22 よき市民 よき隣人 ◆山谷えり子

事例紹介① ● 24 学校防災体制の充実に向けての取組 ◆神戸市教育委員会

事例紹介② ● 26 江東区における学校防災の現状と課題 ◆東京都江東区教育委員会

事例紹介③ ● 28 静岡県における地震防災対策の現状 ◆静岡県教育委員会

体験記 ● 30 震災から一年が過ぎて ◆上田統雄

解説 ● 34 文部省における学校等の防災体制の充実に向けての取組 ◆大臣官房文教施設部指導課 教育助成局地方課・施設助成課 体育局学校健康教育課

資料 ● 38 学校等の防災体制の充実について（第一次報告の概要） ◆学校等の防災体制の充実に関する調査研究協力者会議

● 47 参考資料一覧

カラー

- 1 ある日の学校訪問記
◆松尾村立松尾中学校（岩手県）
4 天然記念物歳時記～花ごよみ
◆大雪山（北海道）
表2 名作シリーズ ◆時絵玉すだれ文盤
表3 文化財紹介 ◆組踊

- 6 であいふれあい ◆荻原健司
48 焦点 ― 文教施策
55 中教審ユース
62 ポイント生涯学習
◆高齢者の学習活動の推進
64 都道府県発 ― 教育・学術・文化・スポーツユース
◆山梨県 ◆奈良県 ◆鳥取県 ◆長崎県
66 どんな講座こんな講座 ― 大学の公開講座から
◆福島大学 ◆中央学院大学
68 現代スポーツあれこれ
◆新しく古いスポーツ
◆スポーツの多様化時代
70 科学はいま ― 理工系へのいざない
◆北海道大学低温科学研究所
73 お知らせ・刊行物紹介
76 鑑賞席
◆東京国立近代美術館 国立西洋美術館
所蔵作品にも
交差するまなざし
ヨロツバと近代日本の美術
◆生涯二〇〇年記念特別展
シボルト父子のみた日本
78 ぼくたち、わたしたちのウェークランド
◆石川県富来町教育委員会
80 海外教育ユース
82 文学のふさと ◆あの町この町
84 編集後記

ハマナス自生南限地帯

(茨城県鹿嶋市・鳥取県鳥取市・西伯郡中山町)

ハマナスは北国の浜辺の夏を彩る植物である。バラ科に属し、野生のバラ属植物の中では最大の花を咲かせる。花は紅色でまれに白い花も見られ、その直径は5cmから10cmにも達する。砂浜のやや安定した立地に、高さ1mほどの低木林をつくり、枝や葉柄には細い刺が密生している。

ハマナスという名は、「浜薔子」ではなく、「浜裂」がなまったものであるというのが定説。果実の形がナシに似ていることからその名が付いたという。果実はビタミンCが豊富で食用になる。また、花からはローズ油がとれて香料とされ、根はタンニンを含み染料となり、花弁を乾燥したものは生薬として用いられるなど、なかなか有用な植物である。

北方系の植物で、分布はアラスカ、アリゾナから朝鮮半島、中国東北部に及ぶ。日本では、太平洋側では茨城県が、日本海側では鳥取県が南限地帯となっており、その両地域が天然記念物に指定されている。本来、大群落を形成する植物ではあるが、分布の限界域では、ハマナスにとって厳しい条件のもとで他の植物と競争しながら群落を維持しているのである。

(文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 蒔田明史)



●大正11年3月8日天然記念物指定



問い合わせ先
茨城県鹿嶋市教育委員会生涯学習課
TEL 0299-82-2911
鳥取県教育委員会文化課
TEL 0857-26-7525

巻頭言 ● 8 文化財保護のあゆみ

文化財保護法改正に寄せて ◆西川杏太郎

座談会 ● 10 文化財保護の新たな展開

◆(出席者) 木原啓吉／荒井 桂／嶋崎 丞／小島美子 ◆(司会) 崎谷康文

論文 ● 22 地方公共団体から見た

文化財保護制度について ◆野村興兒

エッセイ ● 26 上方落語の効果音 ◆桂 米朝

事例紹介① ● 28 歴史的建造物の文化財登録

京都市における試み ◆京都市文化市民局文化財保護課

事例紹介② ● 31 埋もれた文化財掘り起こし

「未指定文化財の登録」制度 ◆熊本県山江村教育委員会

事例紹介③ ● 34 フランスの文化財登録制度について

◆日本における課題も含めて ◆羽生修二

解説 ● 37 文化財保護法の改正について ◆文化庁文化財保護部伝統文化課

Q & A ● 45 文化財登録制度Q&A

特別記事 今後の医療関係者養成の在り方

● 48 二一世紀に向けての

医療人養成の在り方について ◆鈴木章夫

● 51 二一世紀の命と健康を守る医療人の育成を目指して
二一世紀医学・医療懇談会第一次報告 ◆高等教育局医学教育課

● 53 医学教育における改革事例

◆高知医科大学・東京女子医科大学・大阪大学医学部

カラー

ある日の学校訪問記
◆滋賀県立国際情報高等学校 生涯学習課

4 天然記念物歳時記～花こよみ
◆ハマナス自生南限地帯(茨城県・鳥取県)

表2 名作シリーズ ◆蔬菜静物

表3 文化財紹介 ◆刺繍三味耶幡

6 であいふれあい ◆羽生善治

57 焦点 ◆文教施策

60 中教審ユース

64 ポイント生涯学習

66 生涯学習情報提供システムの整備充実
◆都道府県発 教育・学術・文化・スポーツ・ユース

68 福島県 ◆埼玉県 ◆岡山県 ◆福岡県

◆東北大学 ◆京都府立大学

70 現代スポーツあれこれ
◆二〇〇二年ワールドカップについて

72 科学はいまー理系へのいざない
◆東北大学素材工学研究所

75 お知らせ

76 鑑賞席 ◆日本人の源流をさぐる
ビジュアルトランス展

◆美術家の冒険
多面化する表現と手法

78 ぼくたち、わたしたちのワークエンド
◆青森県浪岡町教育委員会

80 海外教育ユース

82 文学のふもと ◆二十四の瞳

84 編集後記

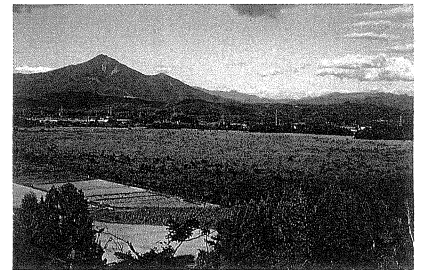
特集 新たな文化財保護の推進

特集

赤井谷地沼野植物群落 (福島県会津若松市)



●昭和3年3月24日天然記念物指定



問い合わせ先
会津若松市教育委員会
TEL 0242-25-3495

写真提供：大須賀昭雄、竹原明秀

赤井谷地は猪苗代湖の北西に位置する高層湿原である。標高五二〇mの低地にありながら北方系の植物に富み、湿原内には二〇〇種以上の植物が生育している。ホロムイイチゴなど本州では稀な植物も多い。

湿原は四季それぞれ華やかである。四月上旬のミズバショウの開花に始まり、五月から初夏にかけて、ゼンテイカ、レンゲツツジ、トキソ

ウなど多数の花が入れ替わり咲き競う。とりわけ、ミカヅキグサやノリウツギの白い花は、長期にわたって赤井谷地を彩る。盛夏には、全域に見られるヌマガヤの合間に、コバギボウシやサワギキョウなどの紫色の花が目を引き。秋風が吹くころになると、さすがに花の数も少なくなるが、ウメバチソウ(写真)やエゾリンドウなどは晩秋まで咲き続け、やがて湿原は雪に覆

われる冬枯れの季節を迎えるのである。

赤井谷地では、四年間をかけて植物の生育状況や水収支などの調査が行われ、最近報告書がまとめられた。この貴重な自然を守るために何をなすべきか、現在も熱心な議論が続けられている。

(文化庁文化財保護部記念物課 藤田明史)
文化財調査官

巻頭言 ● 8 学社融合の考え方 ◆伊藤正己

座談会 ● 10 様々な機関・施設における生涯学習機会の提供について

◆出席者 木村 孟／大野 忠／二宮操／鈴木敬恵／司北村幸久

論文 ● 20 創造的な人材の育成に向けて ◆和田龍幸

● 24 「新しい風」はどこまで広がったか ◆永井順國

エッセイ ● 28 卒業生の戻れる場所 ◆服部幸應

事例紹介① ● 30 生涯学習時代と大学博物館 ◆東京大学総合研究博物館

事例紹介② ● 33 ミニ大学院アフターファイブコース ◆豊橋技術科学大学

事例紹介③ ● 36 「開かれた学校」を家庭・地域・学校の連携で…市川市コミュニティスクール ◆千葉県市川市教育委員会

事例紹介④ ● 39 生涯学習を支援する教育ボランティア活動 ◆国立科学博物館

事例紹介⑤ ● 42 宇宙学校—開かれた研究所を目指して ◆宇宙科学研究所

解説 ● 44 最近の生涯学習審議会動きについて ◆生涯学習局生涯学習振興課 社会教育部課

特別記事 いじめの問題に関する総合的な取組について

● 52 いじめ問題の解決に向けて
一人一人が行動するとき

「児童生徒の問題行動等に関する調査研究協力者会議」報告
◆初等中等教育局中学校課

1 ある日の学校訪問記

◆駒ヶ根市立赤穂南小学校 長野県

4 天然記念物歳時記—花こよみ

◆赤井谷地沼野植物群落 (福島県)

カラー
表2 名作シリーズ ◆麗子肖像
(麗子五歳之像)

表3 文化財紹介
◆上中町熊川宿 (福島県)

6 鑑賞席
◆プロジェクト・フォー・サバイバル
生存への意志

60 焦点—文教施策

65 お知らせ

67 どんな講座—こんな講座—大学の公開講座から

◆富山医科大学

68 ポイント生涯学習
◆電子博物館プロジェクトの推進

70 科学はいま—理工系へのいざない

◆京都大学超高層電波研究センター

73 都道府県発—教育・学術・文化—スポーツコース
◆岩手県 ◆神奈川県 ◆富山県

◆滋賀県 ◆兵庫県

76 現代スポーツあれこれ
◆スポーツサイエンスの時代

78 ぼくたち、わたしたちのワイクエンド
◆島根県海士町教育委員会

80 海外教育エッセイ

82 文学のふもと ◆城の崎にて

84 編集後記

特集 地域における生涯学習機会の充実について

鈴が峰のヤッコソウ発生地

(徳島県海部郡穴喰町)

「奴さん」の姿を思わす奇妙な植物、ヤッコソウ。ヤッコソウは、シイに寄生し葉緑体をもたない一年生の種子植物である。熱帯の林内で1mにもなる世界最大の花を咲かせるラフレシアと同じく、ラフレシア科に属する。ラフレシア科の植物はすべて寄生植物で、栄養体は糸状細胞列で寄主の根の中にあり、植物体が地上に姿を現すのは花の時期だけである。ヤッコソウの花には花弁がなく、雄しべが帽状になって雌しべを包んでいる。咲き始めたころには雄しべが外に出ているが、後にそれが脱落し、雌しべが姿を現す。写真左側の大きな花は、雄花期から雌花期へ移り変わっているところで、ちょうど雄しべを脱ぎ捨てようとしている。

ヤッコソウは、四国・九州の南部から沖縄にのみ分布する世界的にも珍しい植物であり、鈴が峰の指定地はその北限に近い。晩秋にシイの根に沿って一列に「奴さん」が並んでいる様は何ともほほえましいものである。

(文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 蒔田明史)



●昭和54年11月26日天然記念物指定



問い合わせ先
穴喰町教育委員会
TEL 08847-6-2027

写真提供：木内和美・穴喰町教育委員会

第15期中央教育審議会 第一次答申

特集

巻頭言 ● 8 新世紀に向けた教育の改革 ◆奥田幹生

座談会 ● 10 二一世紀を展望した教育改革

◆(出席者)有馬朗人／黒田あゆみ／中川志郎／森 隆夫 ◆(司会)富岡賢治

随想 ● 20 中教審に参加して ◆里中満智子

● 22 楽しい作品づくり ◆薄田泰元

論文 ● 24 “知恵を育てる学校”をどうつくる ◆天笠 茂

● 26 いじめ・登校拒否問題の取組について ◆森田洋司

● 28 家庭教育の具体的内容 ◆詫摩武俊

● 30 中教審の答申を読んで考えたこと

地域社会における教育を担う立場から ◆松下真子

● 32 国際社会に生きる力を ◆掛川 久

● 34 進展が期待できる教育の情報化 ◆清水康敬

● 36 中央教育審議会第一次答申を読んで ◆米村傳治郎

● 38 子供たちの視線からの教育改革を ◆櫻井 修

解説 ● 40 第一五期中央教育審議会第一次答申の概要について ◆大臣官房政策課

● 45 第一次答申を踏まえた施策の展開

寄稿 ● 48 二一世紀のユネスコを考える

理想と現実のはざまへ ◆望月敏夫

カラー

I ある日の学校訪問記

◆平田市立平田幼稚園(島根県)

4 天然記念物歳時記～花ごよみ

◆鈴が峰のヤッコソウ発生地(徳島県)

表2 名作シリーズ ◆彩雨

表3 文化財紹介 ◆小鹿田焼

6 てあひ・ふれあひ ◆惠本裕子

54 焦点 ◆文教施策

61 鑑賞席 ◆室町時代の狩野派

62 中教審ユース

64 お知らせ

70 都道府県発◆教育・学術・文化・スポーツユース

◆青森県 ◆新潟県 ◆千葉県 ◆山口県

72 どんな講座 ◆な講座 ◆大学の公開講座から

◆名古屋大学 ◆東京成徳大学

74 科学はいま ◆理系へのいざない

◆岡山大学 固体地球研究センター

77 ポイント生涯学習

◆大会テーマは「未知のわたしと出会う道」

第八回全国生涯学習フェスティバル

78 ぼくたち、わたしたちのワイクエンド

◆鹿児島県佐多町大泊子ども会

80 海外教育ユース

82 文学のふもと ◆千鳥

84 編集後記

千石山サザンカ自生北限地帯

(佐賀県神埼郡東脊振村)

「サザンカ、サザンカ咲いた道。たき火だ、たき火だ、落ち葉たき……」
だれしもが子供のころに歌った「たき火」の歌詞からも分かるように、サザンカは晩秋から冬にかけて開花する。花の直径は5cmから7cmで、白い花弁を六、七弁つける。近縁種であるツバキとは、花弁と雄しべがばらばらに散ることなどで区別できる。ほかに咲く花の少ない時期に開花するために、庭木や生け垣として各地で植えられており、園芸品種も多く作られ、よく親しまれている植物である。

しかし、サザンカの天然分布の北限は、山口県から九州北部にかけての地域である。福岡県との県境に近い場所に位置する千石山の南斜面には、三ha近いサザンカの純林が見られる。かつては、ツバキと同じように種子から油をとっていたため、大切に保護されてきたのであろう。樹高10mで、低い位置から枝が密生しており、遠くから見ると黒緑色のじゅうたんを敷き詰めたように見える。花の時期には、そこに白い花が散りばめられ、ここだけは季節に似合わない華やかな雰囲気があったようである。

(文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 蔦田明史)



昭和32年7月2日天然記念物指定



問い合わせ先
東脊振村教育委員会
0952-52-5111(内)62
写真提供：横尾 尚

JASRAC 出9672572-601

特集 マルチメディアを活用した 高等教育の展開

巻頭言 ● 8 マルチメディアと教育 ◆ 宮津純一郎

座談会 ● 10 マルチメディアの活用による高等教育の充実
◆ 出席者 久保田文人／開原成允／戸高敏之／坂元 昂 ◆ 司会 若松澄夫

提言 ● 22 マルチメディア時代と著作権 ◆ 半田正夫

エッセイ ● 24 大学生活の中での情報教育 ◆ 荒木直典

事例紹介① ● 26 東京工業大学における遠隔教育の取組 ◆ 東京工業大学

事例紹介② ● 28 立命館大学情報基盤整備の現状と今後 ◆ 立命館大学

事例紹介③ ● 31 海外の大学におけるマルチメディアの
活用の状況 ◆ 放送教育開発センター

解説 ● 35 高等教育における高度情報化への
取組について ◆ 高等教育局企画課

資料 ● 42 マルチメディアを活用した二一世紀の
高等教育の在り方について(概要) ◆ 高等教育局企画課

特別記事 情報の世紀へ向けて

学術情報センター創立十周年を期に

- 46 学術情報センター創立十周年にあたって ◆ 猪瀬 博
- 48 学術情報センター十周年に寄せて ◆ 森 亘／緒方信一郎
- 51 新たな課題に挑戦する学術情報センター
——創立十周年を期に ◆ 学術情報センター

カラー

1 ある日の学校訪問記
◆ 清和村立清和中学校(熊本県)

4 天然記念物歳時記—花ごよみ
◆ 千石山サザンカ自生
北限地帯(佐賀県)

表2 名作シリーズ ◆ 浅間山

表3 文化財紹介 ◆ 赤穂城跡

6 であいふれあい ◆ 川口能活

56 焦点—文教施策

59 お知らせ

60 中教審ユース

66 ボイト生進学習

◆ ワイークエンド・サークル活動推進事業

68 都道府県発—教育・学術文化スポーツユース

◆ 群馬県 ◆ 長野県 ◆ 兵庫県 ◆ 徳島県

70 どんな講座—こんな講座—大学の公開講座から

◆ 東京芸術大学 ◆ 産能大学

72 現代スポーツあれこれ

◆ アマプロスポーツの垣根

参加資格のオープン化

74 科学はいま—理工系へのいざない

◆ 京都大学 霊長類研究所

77 鑑賞席 ◆ 結成—100年記念

白馬会—明治洋画の新風

78 ぼくたち、わたしたちのワイークエンド

◆ 財団法人 プレイスクール協会

80 海外教育ユース

82 文学のふもと ◆ 次郎物語

84 編集後記

室戸岬亜熱帯性樹林及び海岸植物群落
(高知県室戸市)

黒潮洗う室戸岬。荒波や台風の洗礼を受ける岩れき地にへばりつくように海岸植物は生きている。灼熱の太陽のもとに咲く夏の花も美しいが、この特色はむしろ冬である。南国の柔らかな陽光を浴びて、一二月でもシオギクやアゼトウナの花が群れ咲いている。

シオギク(写真)は四国東部の海岸に固有のギクである。直径1cmほどの頭花は、一つ一つを見ると地味なのだが、一面に群れ咲く様は、鮮黄色が目に見え、冬であることを一瞬忘れさせる風景である。

室戸岬は、海岸植物群落とその後背地にある亜熱帯性樹林が一体のものとして天然記念物に指定されている。タブノキやスダジイに覆われた樹林内は、明るい海岸とは対照的に鬱蒼としており、クワズイモなど亜熱帯の雰囲気を感じる植物が多く見られる。

白波のたつ岩場に、シオギクやアゼトウナの花が目立つようになるころには、新しい年の訪れまでもうあとわずかである。

(文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 蔦田明史)



●昭和3年3月24日天然記念物指定



問い合わせ先
室戸市教育委員会
TEL 08872-2-1111

写真提供: 高知県観光振興課・室戸市観光振興課

巻頭言 ● 二一世紀に向けた国際競技力を考える

国立スポーツ科学センター等の早期実現に期待を寄せる ● 江田昌佑

座談会 ● 二一世紀に向けた競技スポーツ振興の展望

◆出席者 小掛照二 小出義雄 太田 章 佐伯聰夫 ◆司会 岡崎助一

論文 ● 国際競技力向上とスポーツ科学

トータルなシステムによるサポートを ● 浅見俊雄

● 諸外国の強化の現状 ● 木下孝二

● 競技スポーツとアンチドーピング ● 河野一郎

エッセイ ● 私のアトラクタ色 ● 豊田順子

事例紹介① ● 長野オリンピックに向けての競技力向上の取組

◆財団法人日本オリンピック委員会

事例紹介② ● FIFAワールドカップフランス大会に向けて

◆財団法人日本サッカー協会

体験記 ● 夢は大きく…… ● 吉良佳子

● 39 アトランタオリンピックに出場して ● 中村兼三

● 40 アトランタで得た宝物 ● 由美子

● 41 オリンピックと私 ● 朝原宣治

● 42 夢の実現 ● 高山樹里

● 43 アトランタオリンピックに参加して ● 元淵 幸

● 44 アトランタでの経験 ● 平野雅人

Q & A ● 競技スポーツ振興Q&A ● 体育局競技スポーツ課

特別記事 ● 多様な学習ニーズへの対応

関係機関の連携・協力を中心に
◆生涯学習局生涯学習振興課民間教育事業室

カラー

◆埼玉県立
新座総合技術高等学校(埼玉県)
4 天然記念物歳時記「花ごよみ」
◆室戸岬亜熱帯性樹林及び
海岸植物群落(高知県)

表2 名作シリーズ ● 冬華

表3 文化財紹介 ● 白杵磨屋伝

6 であいふれあい ● 周防正行

60 焦点 ● 文教施設

62 お知らせ

63 刊行物紹介

64 中教審ユース

66 ポイント生涯学習

◆衛星通信利用による公民館等の
学習機能高度化推進事業

68 都道府県発「教育芸術文化スポーツ」ユース

◆北海道 ● 山形県 ● 静岡県 ● 愛媛県

70 どんな講座? 九〇年代の韓国美術から

◆東京工業大学 ● 豊橋技術科学大学

72 現代スポーツあれこれ

◆競技力の向上に対する地方の取組

73 お知らせ

74 科学はいま 理工系へのいざない

◆東京大学宇宙線研究所

77 鑑賞席 ● 九〇年代の韓国美術から

等身大の物語

78 ぼくたち、わたしたちのワークエンド

◆和歌山県御坊市教育委員会

80 海外教育ユース

82 文学のふもと ● 津軽

84 編集後記

荒川のカンヒザクラ自生地

(沖縄県石垣市)

日本に春を告げる桜前線。その第一号となるのが、石垣島のカンヒザクラである。平成八年の開花日は一月四日であった。

カンヒザクラは、寒緋桜の意で、名前のとおり一年のうちで最も寒い時期に、濃い紅色の花をつける。もともと中国南部から台湾にかけて分布している種で、植栽されたものは各地で見られるが、自生しているのは我が国では石垣島北部の荒川沿いだけである。荒川は、沖縄県最高峰の於茂登山系(海拔五二五m)に源を発する小河川で、フカノキや木生シダなど亜熱帯特有の溪谷植生のなかに、約三〇〇本のカンヒザクラが点在している。

日本に自生するサクラの原種は一〇種。それらが自然交配し、また人工的に創り出されて、現在では三〇〇種類を超える品種がみられるという。全国で三八件が天然記念物に指定されており、カンヒザクラを皮切りに、一二月に開花する群馬県三波川のフユザクラに至るまで、日本各地で多くの人の目を楽しませてくれている。

(文化庁文化財保護部記念物課 蒔田明史)
文化財調査官



●昭和47年5月15日天然記念物指定



問い合わせ先
石垣市教育委員会
TEL 09808-3-0355

写真提供：沖縄県教育委員会文化課・石垣市教育委員会

平成九年 年頭の所感・文部大臣 小杉 隆

特集 学術の振興と社会の発展

巻頭言 12 これからの学術研究・有馬朗人

座談会 14 学術の振興と社会の発展

◆(出席者)鈴木昭應／松本和子／小野田 武／黒井弘之／司会)坂本幸一

論文 24 基礎研究と社会の発展について・西田篤弘

● 28 若手研究者の育成のために・大崎 仁

● 32 産学連携・協力の意義と今後の課題・大滝義博

● 36 人文科学の発展について・河合肇雄

エッセイ 40 今どきの子供たちとサイエンス・紺野美沙子

事例紹介 42 脳から心へ

高次精神機能の解明に挑む・宮下保司

事例紹介 44 熱帯林の環境変動と二斉開花・京都大学生態学研究センター

事例紹介 46 原子レベルの表面加工・COE・大阪大学超精密加工研究拠点

事例紹介 48 ハワイの大望遠鏡・国立天文台

解説 50 科学技術基本計画の策定と学術研究の振興・学術国際局学術課

カラー

1 ある日の学校訪問記
◆金沢大学教育学部附属中学校
(石川県)

4 天然記念物歳時記～花こよみ
◆荒川のカンヒザクラ自生地(沖縄県)

表2 名作シリーズ

◆色絵金銀彩羊歯文八角飾箱

表3 文化財紹介・大善寺玉垂宮の鬼夜

10 であいふれあい・春風亭柳昇

54 焦点・文教施策

60 お知とせ

61 刊行物紹介

62 中教審ユース

66 ポイント生涯学習

◆学社融合推進プロジェクト

68 都道府県別・教育・学術文化スポーツユース

◆愛知県・福井県・和歌山県・大分県

70 びんな講座・びんな講座・大学の公開講座から

◆東京商船大学 ◆京都大学

72 現代スポーツあれこれ

◆総合型地域スポーツクラブの育成

74 科学は、まー理工系へのいざない

◆東北大学流体科学研究所

77 鑑賞席・興福寺国宝展

78 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド

◆岐阜県和良村教育委員会

80 海外教育ユース

82 文学のふるさと・福翁自伝

84 編集後記

湯ノ宮の座論梅

(宮崎県新富町)

へひとはいさ心もしらずふるさとは

花ぞむかしのかにほひける

古来、我が国では、花とはウメの花を指す言葉であった。原産地中国から、中国文化とともに、薬木として日本に伝わったものだと言われており、貴族が「みやび」を学ぶ教材として大切にされたものであった。

天然記念物に指定されているウメは五件。その多くは、地面についた枝から発根し、それが新たな幹になるという「伏条更新」を行っているものである。湯ノ宮の座論梅も、もともとは一本の木であったが、長い年月を経て、現在では約二〇aにわたる梅林となっている。座論梅の名は、うねうねと広がる枝の様子を、人が膝をつきあわせているところに見立てたものだという説や、江戸時代に梅林の所有権争いが起こり、この地で論議をしたことから名がついたという説がある。

春の訪れの早いこの地では、二月一日ごろに盛大に梅祭りが行われる。数年前の台風で被害を受けたが、現在回復のための保護措置が図られており、これからも長くその優雅な姿を見せてくれることであらう。

(文化庁文化財保護部記念物課 藤田明史)
文化財調査官



●昭和10年12月24日天然記念物指定

問い合わせ先
新富町教育委員会
TEL 0983-33-1111
写真提供：新富町教育委員会



特集 今、学生は

巻頭言 ● 8 実りのある学生生活のために ◆金森順次郎

座談会 ● 10 学生ニーズの多様化と
大学改革の動向
◆出席者 武藤輝一／高島正夫／鎌川芳子／永井順國／◆司会 櫻井 清

論文 ● 20 大学改革と学生 ◆辰村吉康

事例紹介① ● 24 育ち直しの場としての学生相談室
◆東京都立大学

事例紹介② ● 27 学生ボランティアの活躍
◆徳山 明

事例紹介③ ● 30 新規学卒者採用の新たな試み
◆トヨタ自動車株式会社

事例紹介④ ● 33 アルバイト活動から見た学生像の変遷
◆株式会社高島屋京都店

解説・資料 ● 36 学生生活の現状及び学生サービスについて
◆高等教育局学生課

Q & A ● 47 就職に関するQ&A

カラー

ある日の学校訪問記

◆平内町立浅所小学校(青森県)

4 天然記念物歳時記「花ごよみ」

◆湯ノ宮の座論梅(宮崎県)

表2 名作シリーズ ◆伏見の茶亭

表3 文化財紹介 ◆高山陣屋跡

6 であいふれあい ◆佐藤しのぶ

49 焦点 ◆文教施策

52 お知らせ

54 中教審ユース

57 刊行物紹介

58 霞が関トピックス

60 ポイント生涯学習
◆男女共同参画社会の形成に向けて

62 都道府県発 ◆教育学術文化スポーツユース
◆宮城県 ◆栃木県 ◆佐賀県 ◆熊本県

64 どんな講座こんな講座 ◆大学の公開講座から
◆旭川医科大学 ◆奈良女子大学

66 現代スポーツあれこれ
◆オリンピックムーブメントについて

68 科学は、まー理系へのいざない
◆東京大学分子細胞生物学研究所

71 鑑賞席 ◆萬 鐵五郎展

72 ぼくたち、わたしたちのウィークエンド
◆佐賀県北山少年自然の家

74 海外教育ユース

82 文学のふもと ◆伊豆の踊子

84 編集後記

柵なぐさのシデコブシシデコブシ自生地
(愛知県渥美町)

早春三月下旬、シデコブシは冬枯れの山里にうす紅色の花を咲かせる。落葉性の小高木で、多数の花弁がねじれて垂れ下がった様子がしめ縄などにつけるシデに似ていることからシデコブシの名がついたという。

モクレン科に属するこの植物は、世界中で、愛知・岐阜・三重の三県にしか分布しない。その自生地は、丘陵地にある低湿地で、岩屑やレキの堆積した層から地下水がしみ出てくるような場所である。このような場所には、シデコブシのほかにも、ヒトツバタゴやナガバノイシモチソウ、ハナノキなど、この地域に分布の限られている植物は多い。これらの植物群は、東海丘陵要素と呼ばれ、水河時代の生き残りであると考えられている。人里近くのありふれた雑木林であるが、植物地理学的にみて大変注目される地域なのである。

我々の生活に最も近い存在であった雑木林も最近ほとんど姿を消し、身近な自然に接する機会が減っている。たまには、身の周りの自然に目を向け、私たちと共に生きている生き物たちのことも考えてみてはどうだろうか。

(文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 藤田明史)



問い合わせ先
渥美町郷土資料館
TEL 05313-3-1127



●昭和45年6月19日天然記念物指定

写真提供：愛知県教育委員会

特集 新国立劇場完成

巻頭言 ● 8 新国立劇場の竣工に当たって ◆三浦朱門

座談会 ● 10 新国立劇場の竣工を迎えて
◆出席者 吉武泰水／選山一行／吉井澄雄／三輝啓子／西澤敬 ◆司会 齋藤秋則

随想 ● 20 夢が叶うことを信じて ◆加戸守行

エッセイ ● 24 聴衆も含めた総合芸術の殿堂に ◆青野照市

● 25 新国立劇場への期待 ◆森 英恵

● 26 新国立劇場と胎動する地方劇場群 ◆永曾信夫

施設紹介 ● 28 新国立劇場探訪

◆野田秀樹／高橋薫子／佐々木想美 ◆案内 筋内 剛

● 32 新国立劇場の設計意図 ◆柳澤孝彦

● 36 新国立劇場の概要

◆日本芸術文化振興会新国立劇場準備室

事業紹介 ● 42 財団法人新国立劇場運営財団

活動内容紹介 ◆財団法人新国立劇場運営財団

関連施設紹介 ● 46 東京オペラシティの

文化施設について ◆東京オペラシティアーツ株式会社

カラー

1 ある日の学校訪問記

◆下館市立下館中学校(茨城県)

4 天然記念物歳時記「花こよみ

◆柵のシデコブシ自生地(愛知県)

表2 名作シリーズ

◆雪柳と海芋に波欺の壺

表3 文化財紹介 ◆四日市旧港港湾施設

6 であいふれあい ◆松岡修造

48 焦点 ◆文教施策

54 中教審ユース

64 ポイント生涯学習

◆放送大学の全国化

66 都道府県発—教育・学術・文化—ポータルユース

◆青森県 ◆秋田県 ◆埼玉県 ◆沖縄県

68 どんな講座—こんな講座—大学の公開講座から

◆三重大学 ◆芝浦工業大学

70 現代スポーツあれこれ

◆国民体育大会

72 科学はいま—理工系へのいざない

◆東北大学電気通信研究所

75 鑑賞席 ◆モダンデザイン之父

ウィリアム・モリス展

76 ぼくたち、わたしたちのウィークランド

◆国立山口徳地少年自然の家

78 海外教育ユース

80 文学のふもと ◆抒情小曲集

82 お知らせ

82 読者からのたより

84 編集後記